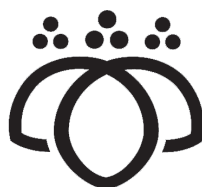


2025 年度

第 6 学年 授業計画表

総合歯科医学6【2期】

〔シラバス〕



鶴見大学歯学部

総合歯科医学 6（解剖）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	松澤 綾美	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義1	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。
2	石川美佐緒	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義2	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。
3	原 矢委子	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義3	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。
4	原 矢委子	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義4	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。
5	黒田 範行	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義5	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。
6	黒田 範行	総合学習	人体の正常構造と機能	演習講義6	人体の正常構造と機能について説明する。	過去の授業プリントを参考に予習すること。授業終了後は授業プリントで復習を行うこと。

指導教員：黒田 範行、石川美佐緒、原 矢委子、松澤 綾美

総合歯科医学 6 (生理学)

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	本谷安正	総合学習	1. 神経系 2. 運動機能 3. 感覚機能	演習講義	1. 神経系の分類と機能を説明できる。 2. 感覚機能の受容器と神経伝導路を説明できる。 3. 脳神経と運動機能の関係を説明できる。 4. 機能中枢を説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
2	大貫芳樹	総合学習	1. 内分泌系	演習講義	1. 内分泌器官を説明できる。 2. 内分泌ホルモンの機能を説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
3	塩澤光一	総合学習	1. 摂食嚥下	演習講義	1. 臨床に必要な摂食嚥下機能を説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
4	塩澤光一	総合学習	1. 総まとめ1	演習講義	1. 1期で学んだ内容の総復習を演習問題で実践する。 2. 演習問題の解説を行う、	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
5	塩澤光一	総合学習	1. 総まとめ2	演習講義	1. 総まとめ1の 演習問題の解説を行う、	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
6	本谷安正	総合学習	1. 口腔機能	演習講義	1. 味覚について説明できる。 2. 唾液の分泌機能について説明できる。 3. 顎運動について説明できる。 4. 摂食・嚥下の機序について説明できる。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。
7	大貫芳樹	総合学習	1. 循環 2. 呼吸	演習講義	1. 心臓の機能について説明する。 2. 血圧とそれに及ぼす要因について説明する。 3. 呼吸運動について説明する。 4. 呼吸運動調節の機序について説明する。	スタディー生理学を予習復習すること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。

指導教員：大貫芳樹、本谷安正、塩澤光一

参考書：① 「基礎歯科生理学」 第7版 医歯薬出版

② 「スタディ生理学・口腔生理学」第3版、永末書店

ISBN：① 978-4-263-45846-4、② 978-4-8160-1338-6

総合歯科医学 6（生化学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1,2	山越康雄 山本竜司	総合学習	生体内物質と代謝	演習講義1	生体内物質と代謝を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。
3,4	山越康雄 山本竜司	総合学習	結合組織および硬組織の有機質、無機質	演習講義2	結合組織および硬組織の有機質、無機質を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。
5,6	山越康雄 山本竜司	総合学習	唾液の生化学および炎症	演習講義3	唾液の生化学および炎症を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や講義資料等を参照し補うこと。

指導教員：山越康雄、山本竜司

参考書：ベーシック生化学、口腔生化学（第6版）

ISBN：9784759811766、9784263458228

総合歯科医学 6（微生物）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1,2	大島朋子	総合学習	免疫学：免疫異常と疾患	演習講義	自然免疫と獲得免疫の関連について説明できる。 粘膜免疫を説明できる。 免疫寛容を説明できる。 免疫異常による疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨むこと。
3,4	大島朋子	総合学習	微生物の特性と感染症	演習講義	各種微生物の特性について説明できる。 各種感染症を説明できる。 感染対策について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨むこと。
5,6	大島朋子	総合学習	口腔環境と常在微生物叢	演習講義	口腔環境の特殊性と微生物の関連について説明できる。 口腔疾患と口腔常在微生物の関係性を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や講義資料を熟読して講義に臨むこと。

指導教員：大島朋子

総合歯科医学 6（病理学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	松本直行	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義1	各種疾患の病因と病態を説明できる。口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
2	松本直行	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義2	各種疾患の病因と病態を説明できる。口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
3	松本直行	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義3	各種疾患の病因と病態を説明できる。口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
4	松本直行	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義4	各種疾患の病因と病態を説明できる。口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
5	松本直行	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義5	各種疾患の病因と病態を説明できる。口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
6	松本直行	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義6	各種疾患の病因と病態を説明できる。口唇・口腔・顎顔面領域の疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：松本直行

総合歯科医学 6（薬理学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習1	薬理学総論 薬理学各論	演習講義 1	薬理学総論と薬理学各論の内容を統合的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
2	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習2	薬理学総論 薬理学各論	演習講義2	薬理学総論と薬理学各論の内容を統合的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
3	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習3	薬理学総論 薬理学各論	演習講義3	薬理学総論と薬理学各論の内容を統合的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
4	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習4	薬理学総論 薬理学各論	演習講義4	薬理学総論と薬理学各論の内容を統合的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
5	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習5	薬理学総論 薬理学各論	演習講義5	薬理学総論と薬理学各論の内容を統合的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

総合歯科医学 6（薬理学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
6	二藤 彰 中島和久 出野 尚	総合学習6	薬理学総論 薬理学各論	演習講義6	薬理学総論と薬理学各論の内容を統合的に説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめまとめプリント、教科書及び参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 まとめプリントやノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：二藤 彰、中島 和久、出野 尚

参考書：解る！歯科薬理学 第3版 学建書院株式会社

ISBN：978-4-7624-2664-3

参考書：現代歯科薬理学 第6版 医歯薬出版株式会社

ISBN：978-4-263-45811-2

総合歯科医学 6（歯科理工学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	野本理恵	総合学習	間違いやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総VIII
2	野本理恵	総合学習	間違いやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総VIII
3	野本理恵	総合学習	間違いやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総VIII

総合歯科医学 6（歯科理工学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
4	野本理恵	総合学習	間違えやすい問題・苦手な問題の克服	演習講義	・応力－ひずみ曲線を説明できる。 ・材料の性質の大小を説明できる。 ・各種歯科材料の組成および特徴を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1, D-2 必11セ 総VIII

指導教員：野本理恵

参考書：スタンダード歯科理工学（第7版） 学建書院

ISBN：978-4-7624-5614-5

基礎歯科理工学 医歯薬出版

ISBN：978-4-263-45831-0

総合歯科医学 6（保存修復学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義1	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
2	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義2	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
3	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義3	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。
4	山本雄嗣	総合学習	病因と病態、歯の硬組織疾患	演習講義4	歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。

指導教員：山本雄嗣

総合歯科医学 6（歯周病学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1,2	長野孝俊	総合学習	歯周組織の構造、歯周病の原因症状・リスクファクター・遺伝的要因・分類・疫学および咬合性外傷。歯周基本治療	演習講義1	歯周組織の構造、歯周病の原因、症状・リスクファクター・遺伝的要因・分類・疫学および咬合性外傷、歯周基本治療について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
3,4	松島友二	総合学習	歯周外科処置・根分岐部病変	演習講義2	歯周外科処置・根分岐部病変について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
5,6	松島友二	総合学習	ペリオドンタルメディスン・口腔機能回復治療・特殊な歯周病の治療	演習講義3	ペリオドンタルメディスン・口腔機能回復治療・特殊な歯周病の治療について国家試験レベルの問題が解答できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：長野孝俊 松島友二

参考書：第3版臨床歯周病学

ISBN：978-4-263-45844-0

総合歯科医学 6（歯内療法学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	長谷川雅子	総合学習	a. 歯の異常 b. 検査	演習講義	a. 歯の異常形態、好発部位を覚える。 b. それぞれの診断に必要な検査を電卓できる。	予習：配布資料の問題を解くこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直しすることができるようにすること。
2	長谷川雅子	総合学習	a. 象牙質知覚過敏症 b. 歯髄の保存療法	演習講義	歯髄の役割、歯髄の保存療法の目的と、使用する薬剤をc。	予習：配布資料の問題を解くこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直しすることができるようにすること。
3	長谷川雅子	総合学習	a. 歯髄炎の兆候、診断、治療方法	演習講義	症状から診断、治療に使用する薬剤を選択できる。	予習：配布資料の問題を解くこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直しすることができるようにすること。
4	長谷川雅子	総合学習	a. 根尖性歯周炎の兆候、診断、治療方法 b. 歯内・歯周病変	演習講義	症状から診断、治療に使用する薬剤選択できる。	予習：配布資料の問題を解くこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直しすることができるようにすること。
5	長谷川雅子	総合学習	a. 根管治療 b. 外科的歯内療法	演習講義	適正な治療手順、使用機材を選択できる。	予習：配布資料の問題を解くこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直しすることができるようにすること。
6	長谷川雅子	総合学習	a. 偶発症 b. 外傷(歯根破折)	演習講義	a. 歯内療法の偶発症の安全対策、処置法を選択できる。 b. 外傷(歯根破折)の適正な治療方針を選択できる。	予習：配布資料の問題を解くこと。復習：理解が不十分であった項目、覚えるべき項目をノート等へ書き出し、試験直前に見直しすることができるようにすること。

指導教員： 長谷川雅子

参考書： 1)歯内治療学 第6版（医歯薬出版）11,000円 ISBN：978-4-263-45693-4
2)エンドドンティクス 第6版（永末書店）9,900円 ISBN：978-4-8160-1404-8

総合歯科医学 6（全部床義歯補綴学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	西山雄一郎	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義1	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明できる。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
2	西山雄一郎	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義2	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明できる。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
3	櫻井敏継	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義3	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明できる。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
4	櫻井敏継	総合学習	臨床操作 技工操作	演習講義4	・無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ・全部床義歯の診療・製作手順を説明できる。 ・全部床義歯装着後に起きる変化とその対応に関して説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。

指導教員：西山雄一郎， 櫻井敏継

市川哲雄、大川周治、平井敏博、細井紀雄 編：無歯顎補綴治療学 第3版， 医歯薬出版， 東京， 2016， ISBN：978-4-263-45792-4

西山雄一郎 著：歯科国試パーフェクトマスター 全部床義歯補綴学， 医歯薬出版， 東京， 2019， ISBN：978-4-263-45842-6

総合歯科医学 6（部分床義歯補綴学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1,2	鈴木恭典	総合学習	部分床義歯の臨床手順	演習講義1	部分床義歯に関する治療の手順を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
3,4	白井麻衣	総合学習	義歯の設計・支台歯の保護・支台歯間線の法則	演習講義2	基本的な設計の考え方を説明できる。支台歯の保護・支台歯間線について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
5,6	鈴木恭典	総合学習	部分床義歯の術後管理	演習講義3	部分床義歯の術後における疼痛の原因，対策を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：鈴木恭典、白井麻衣

総合歯科医学 6（クラウンブリッジ補綴学講座）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1,2	重田優子	総合学習①	クラウンブリッジ治療の流れ	臨床手順 技工手順	クラウンブリッジ治療の臨床手順を説明できる。 それぞれの臨床ステップにおいて使用する器材を説明・選択できる。 クラウンブリッジ製作の技工過程を説明できる。 それぞれの技工ステップにおいて使用する器材を説明・選択できる。 それぞれの操作に関連する国家試験の過去問を抽出し、説明することができる。	左記の学習目標を達成できるよう、教科書や1期授業資料を復習しておくこと。 授業後には、授業内の問題演習を通して学習した思考過程や資料の活用法を実践し習得する。
3,4	重田優子	総合学習②	クラウンブリッジ治療の流れ	臨床手順 技工手順	教科書や国家試験の過去問の写真を使用し、その写真の操作と、前後の操作を、臨床・技工の流れに沿って説明できる。 上記が複数通り考えられる場合には、その特徴や違いを含め、比較・説明できる。	左記の学習目標を達成できるよう、教科書や1期授業資料を復習しておくこと。 授業後には、授業内の問題演習を通して学習した思考過程や資料の活用法を実践し習得する。

指導教員：重田優子

総合歯科医学 6（口腔顎顔面外科学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	佐藤光一郎	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	先天性疾患の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
2	佐藤光一郎	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	顎口腔領域の嚢胞の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
3	江口貴紀	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	良性・悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造について理解できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
4	江口貴紀	総合学習	病因と病態、口唇・口腔・顎顔面領域の疾患	演習講義	良性・悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造について理解できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：佐藤光一郎、江口貴紀

総合歯科医学 6（口腔内科学講座）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1,2	舘原誠晃	総合学習	a 各疾患（神経疾患、唾液腺疾患、炎症、歯性感染症、血液疾患、口腔粘膜疾患）の病態・検査・診断・治療 b 全身的疾患に関連する 口腔・顎顔面領域の症候	演習講義	a 各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。 b 全身疾患に関連する口腔内症状、その対応について説明できる。	第I期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたい。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めよう。
3,4	舘原誠晃	総合学習	a 各疾患（神経疾患、唾液腺疾患、炎症、歯性感染症、血液疾患、口腔粘膜疾患）の病態・検査・診断・治療 b 全身的疾患に関連する 口腔・顎顔面領域の症候	演習講義	a 各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。 b 全身疾患に関連する口腔内症状、その対応について説明できる。	第I期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたい。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めよう。

指導教員：舘原誠晃

参考書：「最新口腔外科学」第5版 榎本昭二 道健一 天笠光雄 小村 健 医歯薬出版株式会社

ISBN：978-4-263-45806-8

総合歯科医学 6（歯科麻酔学講座）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	阿部佳子	総合学習	救命救急 一般的症候	1次救命処置 2次救命処置	1次救命処置・2次救命処置が説明できる	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
2	阿部佳子	総合学習	救命救急 一般的症候	一般的症候	一般的症候が説明できる	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
3	阿部佳子	総合学習	全身的偶発症	バイタルサイン 心電図	バイタルサイン・心電図が説明できる	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
4	阿部佳子	総合学習	全身的偶発症	偶発症の診断と対応	全身的偶発症の診断ができ、対応を説明できる	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：阿部佳子

参考書：医歯薬出版株式会社 第8版歯科麻酔学

ISBN：978-4-263-45829-7

総合歯科医学 6（口腔顎顔面放射線学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	伊東宏和	総合学習	放射線総論/各論	問題演習/講義	放射線総論/各論の内容を説明できる	1期講義で記入した配布テキストの内容を予習しておくこと。授業後はテキストおよび配布プリントに記載した内容を復習すること。
2	伊東宏和	総合学習	放射線総論/各論	問題演習/講義	放射線総論/各論の内容を説明できる	1期講義で記入した配布テキストの内容を予習しておくこと。授業後はテキストおよび配布プリントに記載した内容を復習すること。
3	伊東宏和	総合学習	放射線総論/各論	問題演習/講義	放射線総論/各論の内容を説明できる	1期講義で記入した配布テキストの内容を予習しておくこと。授業後はテキストおよび配布プリントに記載した内容を復習すること。
4	伊東宏和	総合学習	放射線総論/各論	問題演習/講義	放射線総論/各論の内容を説明できる	1期講義で記入した配布テキストの内容を予習しておくこと。授業後はテキストおよび配布プリントに記載した内容を復習すること。

指導教員：伊東宏和

総合歯科医学 6（歯科矯正学講座）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1,2	及川 崇	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
3,4	関谷利子	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
5,6	及川 崇	総合学習	a成長発育 b不正咬合の病因、病態 c不正咬合の診断 d矯正力と生体反応 e矯正装置 f不正咬合の治療 g矯正器具、器材	演習講義	a成長発育について説明できる。 b不正咬合の病因、病態を説明できる。 c不正咬合の診断について説明できる。 d矯正力と生体反応を説明できる。 e矯正装置について説明できる。 f不正咬合の治療について説明できる。 g矯正器具、器材の使用目的を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ1期に配布した資料や教科書を熟読して予習して講義に臨み、講義後も復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

指導教員：及川 崇、関谷利子

参考書：歯科矯正学 第6版 飯田順一郎 他 編集 医歯薬出版株式会社

ISBN：978-4-263-45832-7

：歯科矯正学 エッセンシャルテキスト 西井 康 他 編集 株式会社 永末書店

ISBN：978-4-8160-1422-2

：歯科国試パーフェクトマスター 歯科矯正学 清水典佳、鈴木理奈 著 医歯薬出版株式会社

ISBN：978-4-263-45798-6

総合歯科医学 6（小児歯科学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	守安克也	総合学習	小児の成長発育 口腔機能の発達	演習講義	小児の精神・心理・運動の発達の特徴を説明できる 小児の口腔機能の発達について説明できる	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
2	守安克也	総合学習	歯の発育異常 歯列咬合の発育と異常	演習講義	歯の発育異常の病因、病態を説明できる 小児期の歯列・咬合の発育変化と歯列・咬合の異常について説明できる	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
3	朝田芳信	総合学習	齲蝕と予防 齲蝕治療	演習講義	齲蝕の疫学および予防法について説明できる 乳歯および幼若永久歯の歯冠修復と歯内療法について説明できる	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
4	朝田芳信	総合学習	歯の外傷と処置 咬合誘導	演習講義	乳歯および幼若永久歯の外傷の処置について説明できる 静的および動的咬合誘導を説明できる	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。

指導教員：朝田芳信、守安克也

参考書：小児の口腔科学 第5版

ISBN：978-4-7624-4646-7

総合歯科医学 6（高齢者歯科学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	岡田優一郎	総合学習	1) 加齢に伴う各臓器の変化 2) 高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義1	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
2	岡田優一郎	総合学習	1) 加齢に伴う各臓器の変化 2) 高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義2	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
3	櫻井敏継	総合学習	1) 加齢に伴う各臓器の変化 2) 高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義3	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。
4	櫻井敏継	総合学習	1) 加齢に伴う各臓器の変化 2) 高齢者にみられる疾患 3) 摂食嚥下障害とそのリハビリテーション	演習講義4	・ 加齢に伴う変化を説明できる。 ・ 高齢者によく見られる基礎疾患を説明できる。 ・ 摂食嚥下障害とそのリハビリテーションを説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。

指導教員：岡田優一郎，櫻井敏継

参考書：老年歯科医学（医歯薬出版）

ISBN：978-4-263-45789-4

参考書：よくわかる高齢者歯科学（永末書店）

ISBN：978-4-8160-1339-3

参考書：摂食嚥下リハビリテーション第三版（医歯薬出版）

ISBN：978-4-263-44447-4

総合歯科医学 6（法医歯学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	佐藤慶太	総合学習	歯科法医学 医事法 医療安全	演習講義1	・死因究明・個人識別の実務を説明できる。 ・歯科医業に関連する法規を説明できる。 ・医療事故発生時の対策と防止策を説明できる。	これまでの講義を踏まえた上で講義に出席し、授業後は教科書・参考書などを用いて補いながら、必ず学修内容を復習すること。

指導教員：佐藤慶太

総合歯科医学 6（口腔衛生学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義1	保健・医療と健康増進について説明できる。予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
2	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義2	保健・医療と健康増進について説明できる。予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
3	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義3	保健・医療と健康増進について説明できる。予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。
4	後藤田宏也	総合学習	保健・医療、予防および健康管理・増進	演習講義4	保健・医療と健康増進について説明できる。予防と健康管理・増進について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。7月までの1期の講義資料を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。manabaにて提示する場合がある。

指導教員：後藤田宏也

総合歯科医学 6（口腔インプラント学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	積田光由	1. 総合学習	1A 口腔インプラント用材料 1B インプラント義歯の設計	演習講義	1A①口腔インプラント用材料について国家試験レベルの問題を解答できる。 1B①インプラント義歯の設計について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第4版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answerなど）を用いて到達度の確認を行うこと。 D-2⑤, E-3-4)-(3)①～④ 必修11セj, 総論VIII11ア, 各論IV6アa～c, 各論IV6イa,b
2	積田光由	1. 総合学習	1C 臨床操作（外科処置）	演習講義	1C①インプラント体の埋入手術方法について国家試験レベルの問題を解答できる。 1C②咬合負荷までの期間について国家試験レベルの問題を解答できる。 1C③2次手術について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2022, Vol.10 4-9, P582-630など）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑤ 各論IV6ウa,b
3	積田光由	1. 総合学習	1D 臨床操作（補綴処置） 1E 技工操作	演習講義	1D①口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法について国家試験レベルの問題を解答できる。 1E①セメント固定式上部構造およびスクリュー固定式上部構造の特徴について国家試験レベルの問題を解答できる。 1E②口腔インプラントの技工操作について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2022, Vol.10 4-9, P582-630など）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑥⑦ 各論IV6ウc～g, 各論IV6エa,b

総合歯科医学 6（口腔インプラント学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
4	積田光由	1. 総合学習	1F リコールとメンテナンス 1G トラブルと合併症	演習講義	1F①メンテナンスの重要性について国家試験レベルの問題を解答できる。 1G①手術中，手術直後のトラブルと合併症について国家試験レベルの問題を解答できる。 1G②上部構造装着後のトラブルと合併症について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2022, Vol.10 4-9, P.582-630など）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑧ 各論IV8アイ，オフ

指導教員： 積田光由

参考書：よくわかる口腔インプラント学（第4版）医歯薬出版，赤川安正ら 編，定価11,000円＋税

ISBN：978-4-263-45895-2

総合歯科医学6（内科学）

■授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	植草康浩	治療の基礎・基本手技	ア 留意すべき疾患 ス 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。 必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる	過去に他学年で習得した内科学の内容に目を通しておく事 E-6-①② 必修11-ス-b 総論 VII-1-エ-a～m
2	植草康浩	治療の基礎・基本手技	ア 留意すべき疾患 ス 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。 必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる	過去に他学年で習得した内科学の内容に目を通しておく事 E-6-①② 必修11-ス-b 総論 VII-1-エ-a～m
3	植草康浩	治療の基礎・基本手技	ア 留意すべき疾患 ス 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。 必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる	過去に他学年で習得した内科学の内容に目を通しておく事 E-6-①② 必修11-ス-b 総論 VII-1-エ-a～m
4	植草康浩	治療の基礎・基本手技	ア 留意すべき疾患 ス 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。 必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる	過去に他学年で習得した内科学の内容に目を通しておく事 E-6-①② 必修11-ス-b 総論 VII-1-エ-a～m

指導教員：植草康浩

総合歯科医学6（障害者歯科学）

■授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	關田俊介	必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 11 治療の基・基本手技 総論Ⅰ 1 健康の保持・増進と社会保障	ア 患者・障がい者のもつ心理社会的問題と背景 ウ チーム医療 イ 小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 ア 健康・疾病・障害の概念 エ 保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み	a 疾病・障害の概念・構造（社会的関わり） b リハビリテーションの理念 c ノーマライゼーションの理念 d 国際生活機能分類〈ICF〉 e 健康格差、健康の社会的決定要因 a チーム医療の意義（多職種連携、医科歯科連携、病診連携を含む） b 医療チームの構成員と役割 c チーム医療における歯科の役割（かかりつけ歯科医、在宅医療、歯科訪問診療） d 情報提供 a 治療環境 b 患者の体位 c コミュニケーション d ノーマライゼーション e パリアフリー i 医療連携・チーム医療とその関係職種	1 障害者と健常者の共生社会の必要性を説明できる 2 ノーマライゼーションを説明できる 3 社会的障壁を説明できる 4 パリアフリーを説明できる 5 チーム医療を説明できる 6 ICFを理解し説明できる 7 ICIDHを理解し説明できる 8 障害者歯科医療には多職種連携の必要性を説明できる	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと 復習：講義プリントを参照して確認し、理解を深めること A-5-1)①②③ B-2-2)③⑤⑦⑧
2	關田俊介	総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度	カ 障害児・障害者の保健・福祉	a 現状、動向 b 障害児・障害者の健康保持・増進 c 障害の種類と支援 d 自立支援と福祉の制度 e 障害児・障害者の歯科保健医療	1 障害者の福祉に関連する法規を列挙し障害の種類と支援を説明できる。「障害者基本法、知的障害者福祉法、発達障害者支援法、身体障害者福祉法、改正精神保健福祉法、児童福祉法、障害者総合支援法」 2 障害者の共生社会に向けた自立支援について説明できる 3 自立支援医療について説明できる	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと 復習：講義プリントを参照して確認し、理解を深めること B-2-2)③⑤⑦⑧

総合歯科医学6（障害者歯科学）

■授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
3	關田俊介	総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 6 全身疾患を有する者への対応 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎	ア 障害の概念 イ 障害の分類 ウ 行動調整 エ 診察の基本 オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理 ア 留意すべき疾患 エ 全身管理に留意すべき疾患 オ 障害者の治療	a 身体障害 b 知的障害 c 精神障害 d 発達障害 f 精神疾患 g 神経・運動器疾患 g 精神疾患 h 神経・運動器疾患	1 障害の定義を説明できる 2 身体障害について説明できる。「脳性麻痺、感覚器障害」 3 知的障害について説明できる。「Down症候群、他」 4 精神障害について説明できる。「統合失調症、うつ病」 5 発達障害について説明できる。「自閉スペクトラム症」 6 神経・運動器疾患について説明できる。「重症筋無力症、筋ジストロフィー、筋委縮性側索硬化症、Parkinson病、てんかん」	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと E-5-2)-① 総論Ⅴ 診察 2 小児への対応 オ 発達障害のある小児への対応 a 自閉スペクトラム症 b 注意欠如・多動症 c 限局性学習症
4	關田俊介	各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病患者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 2 治療の基礎 8 障害者の歯科治療	エ 全身管理に留意すべき疾患 オ 障害者の歯科治療 ア 基本的対応 イ 歯科治療上留意すべき事項 ウ 口腔疾患の治療 エ 口腔保健指導	g 精神疾患 h 神経・運動器疾患 a 一般的対応 b 行動調整 a 環境への適応性 b 姿勢・異常反射 c 呼吸管理	1 行動調整法について列挙し、方法および方法が有効な障害者について説明できる 2 レジネスについて説明できる 3 刺激統制法について説明できる 4 レスポデント条件付けについて説明できる。「系統的脱感作、TSD法」 5 オペラント条件付けについて説明できる。「トークンエコミー：正の強化、レスポンスコスト：負の強化」 6 タイムアウト、モデリング法を説明できる 7 TEACCH、視覚支援等について列挙し説明できる 8 反射抑制姿勢、筋弛緩法について説明できる 9 薬物による行動調整を説明できる。	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと E-5-2)-②③④⑤⑥

指導教員：關田俊介、花谷重守

参考書：スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科 第2版

日本障害者歯科学会編集 医歯薬出版株式会社 ¥9,500

ISBN：ISBN978-4-263-45801-3 C3047

総合歯科医学 6（スポーツ歯学）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	栗原大介	総合学習	スポーツマウスガード	演習講義	1 a①目的と意義について説明する. 1 b①種類と特徴について説明する. 1 c①材料と特性について説明する. 1 d①サーモフォーミングの特性について説明する. 1 e①使用上の注意とメインテナンスについて説明する.	授業の理解を図るため予習：シラバスを確認し，講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する．授業の理解を深めるため講義資料と参考書とANSWER2024- 7 巻P396-400で復習する． E-2-4) - (2) ③, E-4-2) ⑦, D-1 ① 各論Ⅰ-4 オ, 各論Ⅲ-5 イd

指導教員：栗原大介

参考書：要説スポーツ歯科医学第2版 医学情報社 上野俊明 他編

ISBN：978-4-903553-79-5

スポーツ歯科臨床マニュアル第2版 医学情報社 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会編

ISBN：978-4-903553-84-9

総合歯科医学 6（統計特講）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	網谷泰治	疫学における統計	疫学とその応用	① 疫学の研究方法 ② 疫学指標	① 疫学における代表的な研究デザインを理解する ② 相対危険度, 寄与危険度、オッズ比などの疫学指標を計算し、それらの意味を理解する	予習：manaba に載せている講義プリント1を読んでおくこと 復習：講義プリント1の内容を確認し、問題を解いておくこと B-4-1) ②、③ 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a～f イ 疫学指標 a～b
2	網谷泰治	疫学における統計	統計解析の方法	① スクリーニング ② 人口統計	① 敏感度, 特異度などのスクリーニングの指標の意味を理解し、尤度比とROC曲線を関連づける ② 死亡率の計算方法(直接法・間接法)を理解する	予習：manaba に載せている講義プリント2を読んでおくこと 復習：講義プリント2の内容を確認し、問題を解いておくこと B-4-1) ②、③ B-4-2) ①、②、③ 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a～f ウ 保健医療統計調査 a～b
3	網谷泰治	疫学における統計	統計解析の方法	① 因果関係の推論 ② 有意性検定	① 疾病に関する要因の推論過程について説明できる ② 医学における代表的な検定（t検定、カイ2乗検定）を振り返る	予習：manaba に載せている講義プリント3を読んでおくこと 復習：講義プリント3の内容を確認し、問題を解いておくこと B-4-2) ①、④ 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a～f イ 疫学指標 a～b ウ 保健医療統計調査 a～b

指導教員：網谷泰治

参考書：独習 統計学24講, 鶴田陽和著, 朝倉書店, 2013年, 3,200円（税別）

ISBN：9784254121933

総合歯科医学 6（臨床対策コラボ講義）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	阿部佳子	総合医学-1	全身疾患に関連した歯科治療	演習講義 心疾患 抗血栓療法	全身疾患を有する患者の病態、常用薬、歯科治療についての注意点を理解し、包括的治療計画を立てることができる。	第1期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたい。講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。
2	舘原誠晃	総合医学-2	全身疾患に関連した歯科治療	演習講義 高血圧 心疾患 神経疾患 嚥下障害	全身疾患を有する患者の病態、常用薬、歯科治療についての注意点を理解し、包括的治療計画を立てることができる。	第1期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたい。講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。
3	舘原誠晃	粘膜疾患・唾液腺腫瘍-1	口腔粘膜疾患・唾液腺腫瘍の病態・検査・診断・治療	演習講義 唾液腺腫瘍 口腔粘膜疾患	各疾患の病態・検査方法・診断方法・治療法について説明できる。	第1期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたい。講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。
4	松本直行	粘膜疾患・唾液腺腫瘍-2	口腔粘膜疾患・唾液腺腫瘍の病態・検査・診断	演習講義 唾液腺腫瘍 口腔粘膜疾患	各疾患の病態・診断方法について説明できる。	第1期に配布した資料や教科書を活用し、知識を深めたい。講義に臨んでください。復習を通じて、さらなる理解の向上に努めましょう。
5	廣田正嗣	デジタルデンティストリー-1	歯科用CAD/CAMシステムとデジタル関連器材 CAD/CAMマテリアル	CAD/CAMシステム 切削加工法 積層造形法 口腔内スキャナー（IOS） ジルコニア ニケイ酸リチウムガラスセラミックス CAD/CAM用コンポジットレジン	歯科用CAD/CAMシステムについて説明できる。 切削加工法、積層造形法について説明できる。 IOSについて説明できる。 CAD/CAM用材料について説明できる。	manabaに事前掲載する講義資料および歯科理工学の参考書を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。
6	新保秀仁	デジタルデンティストリー-2	歯科用CAD/CAMシステム デジタルを利用した修復物、補綴装置の製作 IOSの使い方や利点	切削加工法 積層造形法 口腔内スキャナー（IOS）	歯科用CAD/CAMシステムについて説明できる。 切削加工法、積層造形法について説明できる。 デジタル製作とアナログ製作の比較を説明できる。 IOSの使用方法や利点欠点を説明できる。	manabaに事前掲載する講義資料および歯科補綴学、歯冠修復の参考書を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。

総合歯科医学 6（臨床対策コラボ講義）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
7	塩澤光一	摂食・嚥下、装具-1	摂食嚥下 発音・構音	食塊形成、口腔期、咽頭期、食道期 母音、子音	食塊形成機構を説明できる。 嚥下の各期の機序を説明できる。 言語中枢を説明できる。 構音機構を説明できる。	『スタディ生理学』の当該項目を事前にチェックすること。 講義時に提示した練習問題を復習すること。
8	西山雄一郎	摂食・嚥下、装具-2	摂食嚥下障害 発話障害 特殊な装置による治療	摂食嚥下機能の評価 発話機能の評価 パラトグラム 顎義歯 舌接触補助床 軟口蓋挙上装置 スピーチエイド	摂食嚥下機能の評価について説明できる。 発話機能の評価について説明できる。 パラトグラムについて説明できる。 顎義歯について説明できる。 舌接触補助床について説明できる。 軟口蓋挙上装置について説明できる。 スピーチエイドについて説明できる。	「無歯顎補綴治療学第4版」の該当項目およびmanabaに事前掲載する講義資料を予習すること。講義後は、講義時の演習問題と該当する国家試験既出問題を復習し、講義内容を要約すること。
9	廣田正嗣	接着-1	歯質接着機構、 各接着操作の意味 前処理および接着に用いる材料	レジンセメント 接着性モノマー エッチング、プライミング、ボンディング シランカップリング剤 金属接着性モノマー 接着阻害因子	合着用セメントについて説明できる。 歯質との接着機構を説明できる。 各材料に対する被着面処理の方法を説明できる。	manabaに事前掲載する講義資料および歯科理工学の参考書を参照し講義に備えること。また、総合歯科医学5の講義で使用した資料を整理して復習しておくこと。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。
10	山本雄嗣	接着-2	歯質の解剖 歯質とレジンの接着機構	エナメル質 象牙質 歯質とレジンの接着 補修修復	エナメル質と象牙質の構造を説明できる。 歯質とレジンの接着機構を説明できる。 アドヒーズの成分と使用目的を説明できる。	manabaに事前掲載する講義資料および保存修復学講義資料を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。

総合歯科医学 6（臨床対策コラボ講義）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
11	重田優子	接着-3	クラウンブリッジ治療における接着操作	支台築造における接着 補綴装置製作における接着 補綴装置装着 補修修復における接着	支台築造における接着操作を説明できる。 補綴装置製作における接着操作を説明できる。 補綴装置装着時の接着操作について説明できる。 補修修復における接着操作を説明できる。	1期の接着関連の授業内容を復習しておくこと。 授業後、理工学的・保存学的な知識と併せて復習し、接着について整理する。
12	守安克也	スペシャルニーズデンティストリー-1	障害児の歯科治療	心身障害児への歯科的対応	心身障害児の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 心身障害児の口腔にみられる特徴と歯科的問題を特徴を説明できる。 心身障害児の歯科診療での対応法を説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
13	花谷重守	スペシャルニーズデンティストリー-2	障害者の歯科治療	心身障害者のへの歯科的対応	心身障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 心身障害者の口腔にみられる特徴と歯科的問題を特徴を説明できる。 心身障害者の歯科診療での対応法を説明できる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。
14	阿部佳子	疼痛管理-1	疼痛・ペインクリニック	歯原性疼痛 非歯原性疼痛 神経障害性疼痛	歯原性疼痛の特徴について説明できる 非歯原性疼痛の特徴と治療について説明できる 神経障害性疼痛の特徴と治療について説明できる	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。
15	中島和久	疼痛管理-2	疼痛	疼痛治療に使われる薬物	疼痛治療に使われる薬物の特徴と作用機序を説明できる	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。

総合歯科医学 6（臨床対策コラボ講義）

【授業日程】

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
16	及川 崇	顎変形症-1	チーム医療 顎変形症治療	下顎枝矢状分割術 上下顎移動術 オトガイ形成術 仮骨延長術	術前矯正治療について説明できる 顎変形症の手術法を説明できる	manabaに事前掲載する講義資料および歯科矯正学の教科書を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。
17	中岡一敏	顎変形症-2	チーム医療 顎変形症治療	下顎枝矢状分割術 上下顎移動術 オトガイ形成術 仮骨延長術	術前矯正治療について説明できる 顎変形症の手術法を説明できる	manabaに事前掲載する講義資料を参照し講義に備えること。講義後は、学習目標に沿って内容を要約し、該当する国家試験既出問題を検索、解答し復習すること。

指導教員：阿部佳子、及川 崇、塩澤光一、重田優子、新保秀仁、舘原誠晃、中岡一敏、中島和久、

西山雄一郎、花谷重守、廣田正嗣、松本直行、守安克也、山本雄嗣

参考書：①スタンダード歯科理工学第7版 ②スタディ生理学・口腔生理学第3版 ③無歯顎補綴治療学第4版

ISBN：①ISBN978-4-7624-5614-5 ②ISBN978-4-8160-1338-6 ③ISBN978-4-263-45868-6